



図3 グリーンランド氷床コアの解析によって推定される過去3万5千年間の酸素同位体比 およびメタン濃度変動

(A) 氷床コアから抽出された氷の酸素同位体比。酸素同位体比変動は気温変動と正の相関関係を示しており、その値が高いほど気温が高いことを示している。この同位体比変動の解析に基づいて、最終氷期には急激かつ短期的な温暖化イベント (IS1～IS7) があったことが明らかにされている。

(B) 大気中メタン濃度。氷床コアの気泡中に含まれるメタン濃度の分析に基づく推定値。メタン濃度の上昇は気温の上昇に非常によく一致している。